

修正案第 1 号

平成 28 年 12 月 20 日

生駒市議会議長

中 谷 尚 敬 様

発議者 浜田佳資

賛成者 竹内ひろみ

〃 久保秀徳

議員提出議案第 7 号地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見
書についてに対する修正の動議について

このことについて、生駒市議会会議規則第 16 条の規定により、別紙のとおり
案文を添え修正案を提出いたします。

(別紙)

議員提出議案第7号地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書についてに対する修正案

議員提出議案第7号地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書についての一部を次のように修正する。

案文中「厚生年金への加入」を「年金の仕組構築」に、「。また、政務活動費の削減により、議員活動を議員報酬で賄わなければならない状況をも生んでおり」を「ことにより」に改め、「将来に対する保障が大きく縮減することとなった。」の次に「このことにより、とりわけ議員報酬が低い地方議会における将来不安は増大した。」を加え、「を背景に」を「も背景にして、議会に求められる役割が重要となる中で」に、「。また、議会に求められる役割が重要となる中で」を「にもかかわらず」に、「状況も」を「という、相反する状況が」に、「厚生年金加入」を「年金の仕組構築」に改める。

議員提出議案第7号 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について

対照表

議員提出議案第7号 原案	修正案
<p>地方議会議員の<u>厚生年金への加入</u>を求める意見書</p> <p>略</p> <p>他方、行財政改革の流れの中で、全国的に議員報酬の削減、政務活動費の削減がうたわれ、生駒市においても平成21年4月に政務活動費の40%削減、平成23年4月に議員報酬の12%削減を断行した。<u>また、政務活動費の削減により、議員活動を議員報酬で賄わなければならない状況をも生んでおり、</u>専門の議員にとっては、より厳しい状況が生じている。</p> <p>さらに、市町村合併が進んだことに伴い議員年金が維持困難となり、平成23年6月に廃止され、首長と異なり退職金のない地方議会議員にとっては、将来に対する保障が大きく縮減することとなった。</p> <p>以上のような状況を背景に、議員のなり手不足が深刻な問題となっている自治体も出てきている。<u>また、議会に求められる役割が重要となる中で、特に様々な経験や能力を有する現役世代が参入しがたい状況も</u>生じている。</p> <p>よって、政府に対し、地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の処遇改善の一環として、地方議会議員の<u>厚生年金加入</u>に向けた取組を早急に進めることを強く要望する。</p>	<p>地方議会議員の<u>年金の仕組構築</u>を求める意見書</p> <p>略</p> <p>他方、行財政改革の流れの中で、全国的に議員報酬の削減、政務活動費の削減がうたわれ、生駒市においても平成21年4月に政務活動費の40%削減、平成23年4月に議員報酬の12%削減を断行した<u>ことにより、</u>専門の議員にとっては、より厳しい状況が生じている。</p> <p>さらに、市町村合併が進んだことに伴い議員年金が維持困難となり、平成23年6月に廃止され、首長と異なり退職金のない地方議会議員にとっては、将来に対する保障が大きく縮減することとなった。<u>このことにより、とりわけ議員報酬が低い地方議会における将来不安は増大した。</u></p> <p>以上のような状況も背景にして、議会に求められる役割が重要となる中で、議員のなり手不足が深刻な問題となっている自治体も出てきている<u>にもかかわらず、特に様々な経験や能力を有する現役世代が参入しがたいという、相反する状況が</u>生じている。</p> <p>よって、政府に対し、地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の<u>年金の仕組構築</u>に向けた取組を早急に進めることを強く要望する。</p>